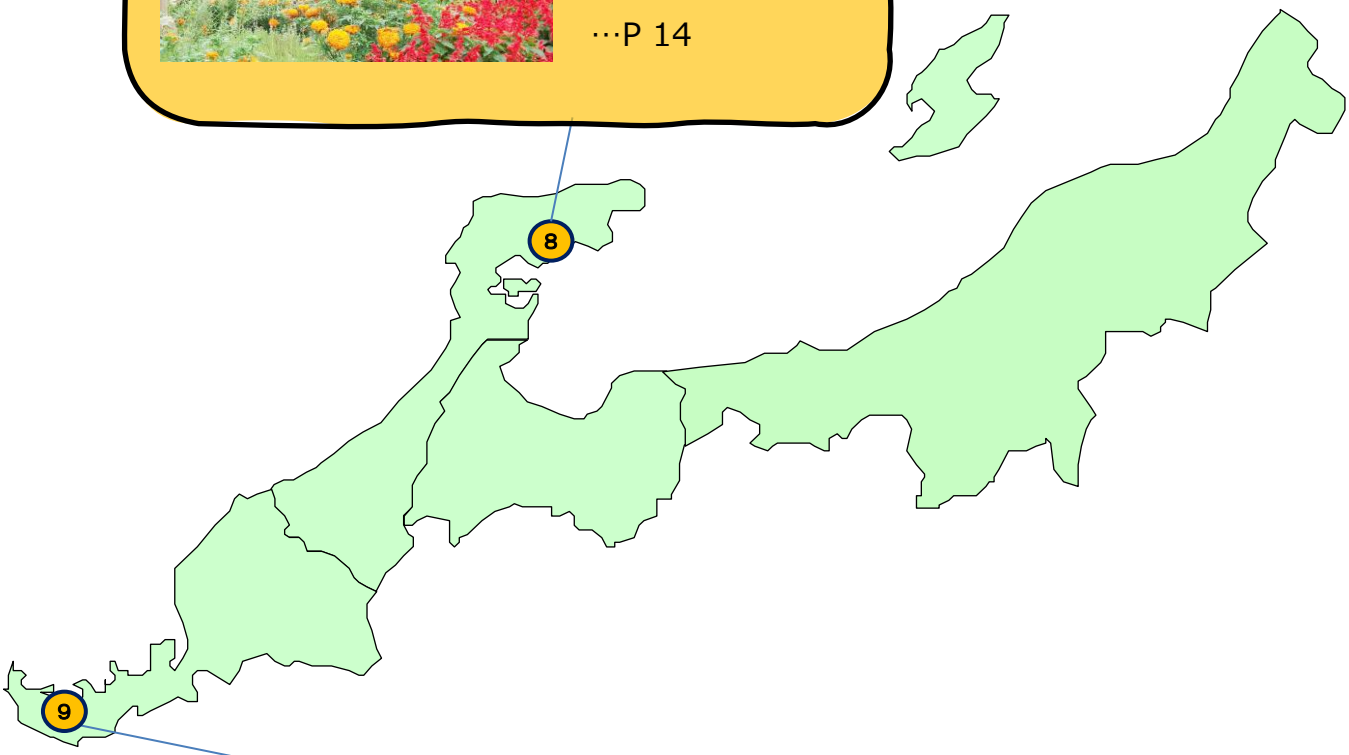
北陸農政局管内の特徴ある事例
（～過去に選定された地区のフォローアップから～）

上乗　秀雄さん（石川県能登町）
～能登半島地震からの復興を目指す憩いの村～
【R１全国選定 個人賞受賞】

…P 14



株式会社若狭の恵（福井県小浜市）
～お米と人と地域を育てる「若狭の恵」！～
【R１全国選定 ビジネス部門】

…P 15

R１全国選定
個人賞受賞

上乗　秀雄さん（石川県能登町）

～能登半島地震からの復興を目指す憩いの村～

米粉パン等を販売する
キッチンカー

被災した施設

選定年（R1）前後の状況

選定時までの活動状況

- 自然体験村「ケロンの小さな村」における自然体験や環境学習、 自家生産の米粉や野菜を使ったピザ作り体験などでの子どもの来村者数は年間4,000人。 大人も合わせると5,000人（H30時点）。地域の活性化にも貢献。

選定直後の状況

- 受賞後、町長や金融機関に報告の表敬訪問を行い、今後の活動について激励があった。
- 地域の広報誌に地域活性化の事例として取り上げてもらい、総務省の「令和4年度ふるさとづくり大賞」に推薦され、個人表彰を受賞。

現在の状況・今後の方向

現在の活動状況（5年後）

- R6年1月の能登半島地震により崩壊した橋や施設等の修復を最優先に行っている。少しでも早い復旧と、コロナ禍以前を上回る来村者と売り上げを目標としている。
- 孫が後継者になったことで、事業承継のために収益化について考えるように。災害からの復興と収益化の二本柱で活動を行う予定。
- 災害ボランティア団体から譲り受けたキッチンカーでイベント等に参加し、自家生産の米粉パン等を販売。

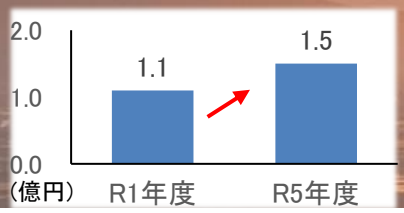
今後の展開方向

- 里山内に農業ハウスを建設し、水耕栽培にも挑戦。また、宿泊施設を整備し、宿泊部門での収益化を目指す
- 直売所兼休憩所を設置し、米粉パン等の売り上げアップを目指す。

R１全国選定
ビジネス部門

株式会社若狭の恵（福井県小浜市）

～地域の更なる雇用創出、農作業等の効率化を実現～



米の売上高

受賞当時からラベルを刷新
した自社の甘酒、トマトジュース

地元の小学生からの
農業体験等への御礼の数々

選定年（R1）前後の状況

選定時までの活動状況

- 米の売上高は、約7,300万円から約1.1億円へ増加（H26→H30）
- 営農サポーター制度による地域の高齢者等の雇用者数は、H30年度には延べ約1,500人。
- 地元小学校の農業体験・見学等の受入を行う

選定直後の状況

- ひまわりを緑肥として栽培した「ひまわり米」に注目が集まり、新たな販売先と契約を締結できた。

現在の状況・今後の方向

現在の活動状況（5年後）

- 米の売上高、6次産業化（商品開発）による売上高はともに、受賞当時（R1）から増加。
- 営農サポーター制度による雇用者は、約1,800人程度まで増加。雇用者が増えたこ とで、農繁期でも正社員に固定の休日をとらせることが可能になった。
- 従来の米～麦～ひまわりの2年3作から、米（早生品種）→ひまわり（8月播種）→枯れたひまわりを緑肥としてすきこみ田植えを行う1年2作に切り替え、休閑期をなくすことで効率的に「ひまわり米」を栽培することに成功。

今後の展開方向

- 耕地面積を維持しつつ、いまある資源を最大限効率化したい。主に、育苗・乾燥施設等は稼働率に余裕があるため、受注委託を増やしていく予定。